「キリスト教徒がマルヤムの子の讃美において度を越したように、私のことを度を越して称えてはならない。私はかれ のしもべに過ぎないのだ。それゆえ（私のことを）こう言うがよい：アッラーのしもべ、アッラーの使徒、と。」

ウマル・ブン・アル＝ハッターブ（アッラーのご満悦あれ）は言った：私は預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）が、こう言うのを聞いた： 「キリスト教徒がマ
ルヤムの子の讃美において度を越したように、私のことを度を越して称えてはならない。私はかれ のしもべに過ぎないのだ。それゆえ（私のことを）こう言うがよい：アッラーのしもべ、アッラーの使徒、と。」
[صحيح] [رواه البخاري]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）はキリスト教徒がマルヤムの子イーサーに対してそうしたように、自分が過度に賛美されたり、アッラーが専有する属性や行為で描写されたり、不可知の領域を知っていると言われたり、アッラーと並べて祈願されたりすることを禁じた。 そして彼がアッラーのしもべの一人であることを説明し、私たちが彼のことを「アッラーのしもべ、アッラーの使徒」と言うよう命じた。

http://sunnah.global/hadeeth/ja/show/3406